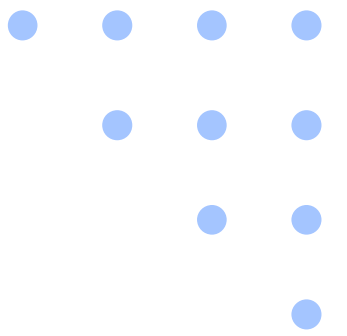


沖縄だからできる食を通した相談支援体制強化事業 ～心や生活の安心感にもつながる食の支援～

お米利用者 アンケート結果報告

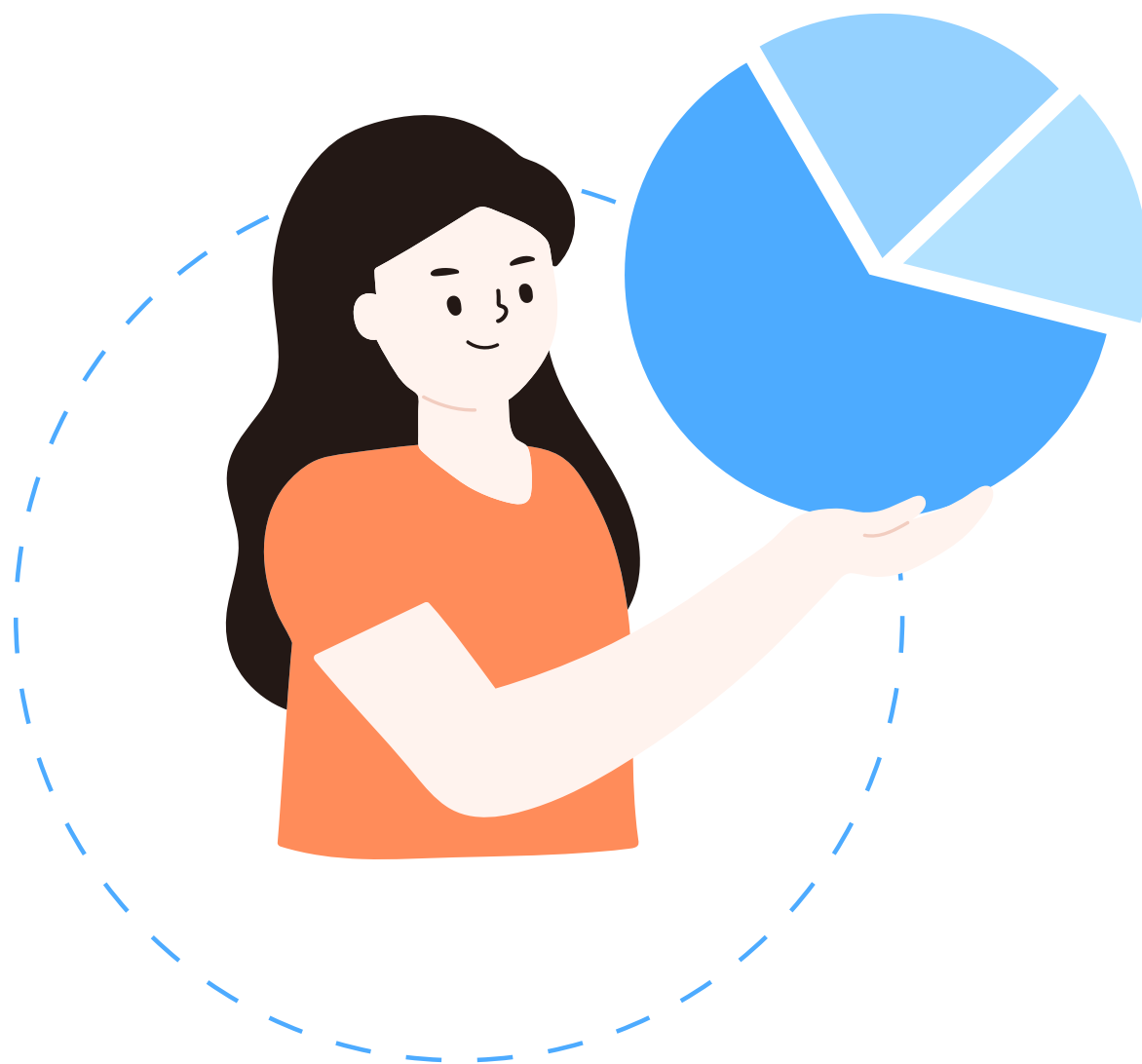


2025年3月



アンケートの目的

本アンケートは、事業で購入したお米の提供を受けた方々の経済状況、生活環境、困りごとなどを調査し、支援ニーズを把握することで、今後の支援活動の改善や拡充に役立てることを目的で実施しました。



アンケート内容

- アンケート対象者：お米を受け取った方が任意で回答
- アンケート期間：2024年6月～2025年2月末日
- アンケート質問項目：6つ

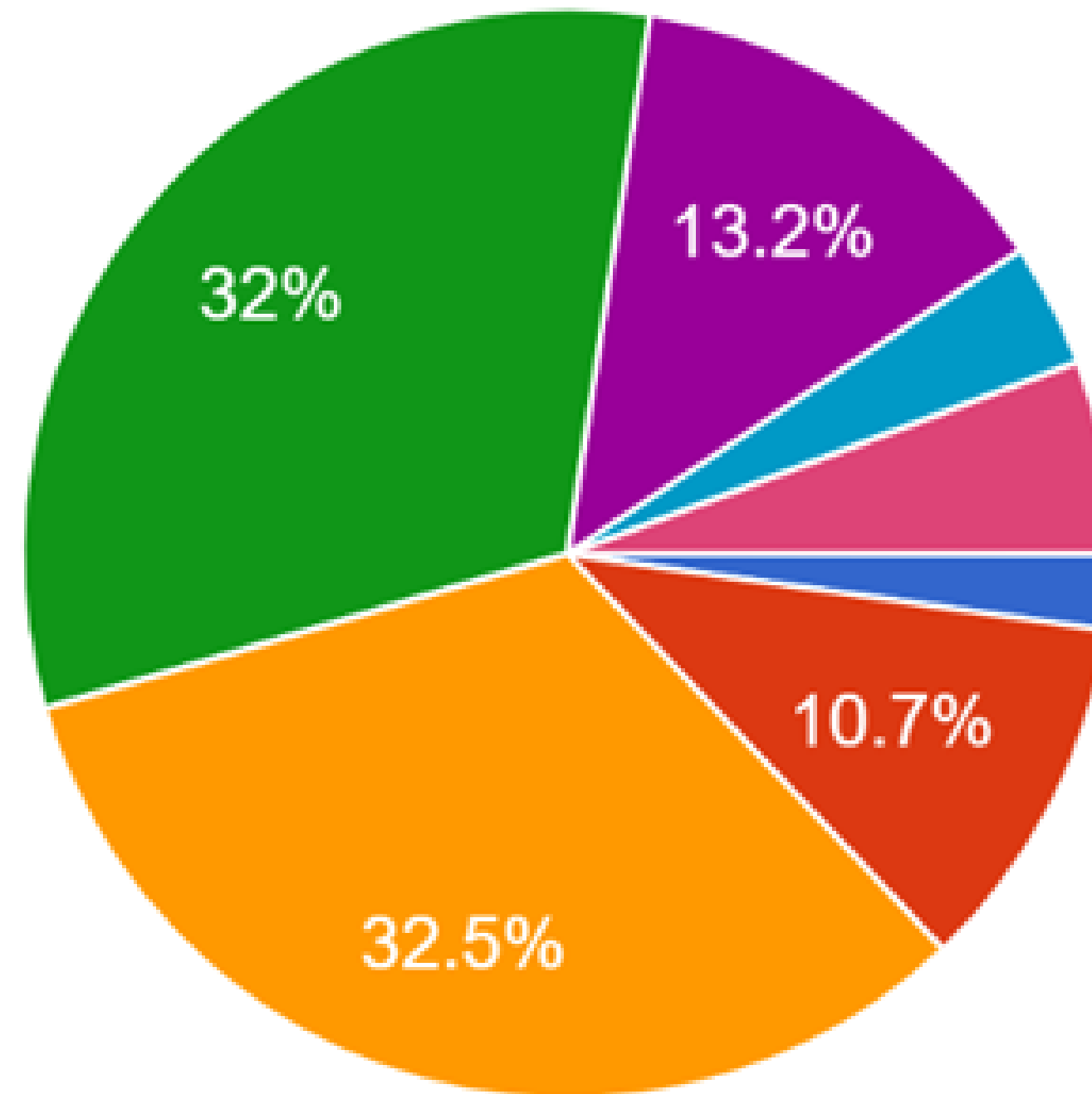
※アンケート報告はその一部を掲載

- アンケート回答者数：**1116人**



Q1 回答者の年齢

- ~10代
- 20代
- 30代
- 40代
- 50代
- 60代
- 70代以上



30代および40代の回答者が多く、働き盛りの世代が多く含まれている。一方で、高齢者（60代以上）の回答も一定数存在し、広い世代にお米が行き届いていることがわかった。

Q2 お住いの市町村

32市町村の方から回答があった
(沖縄県41市町村)

回答がなかった町村

渡嘉敷村 / 座間味村 / 粟国村 /
渡名喜村 / 南大東村 / 北大東村 /
伊平屋村 / 多良間村 / 与那国町

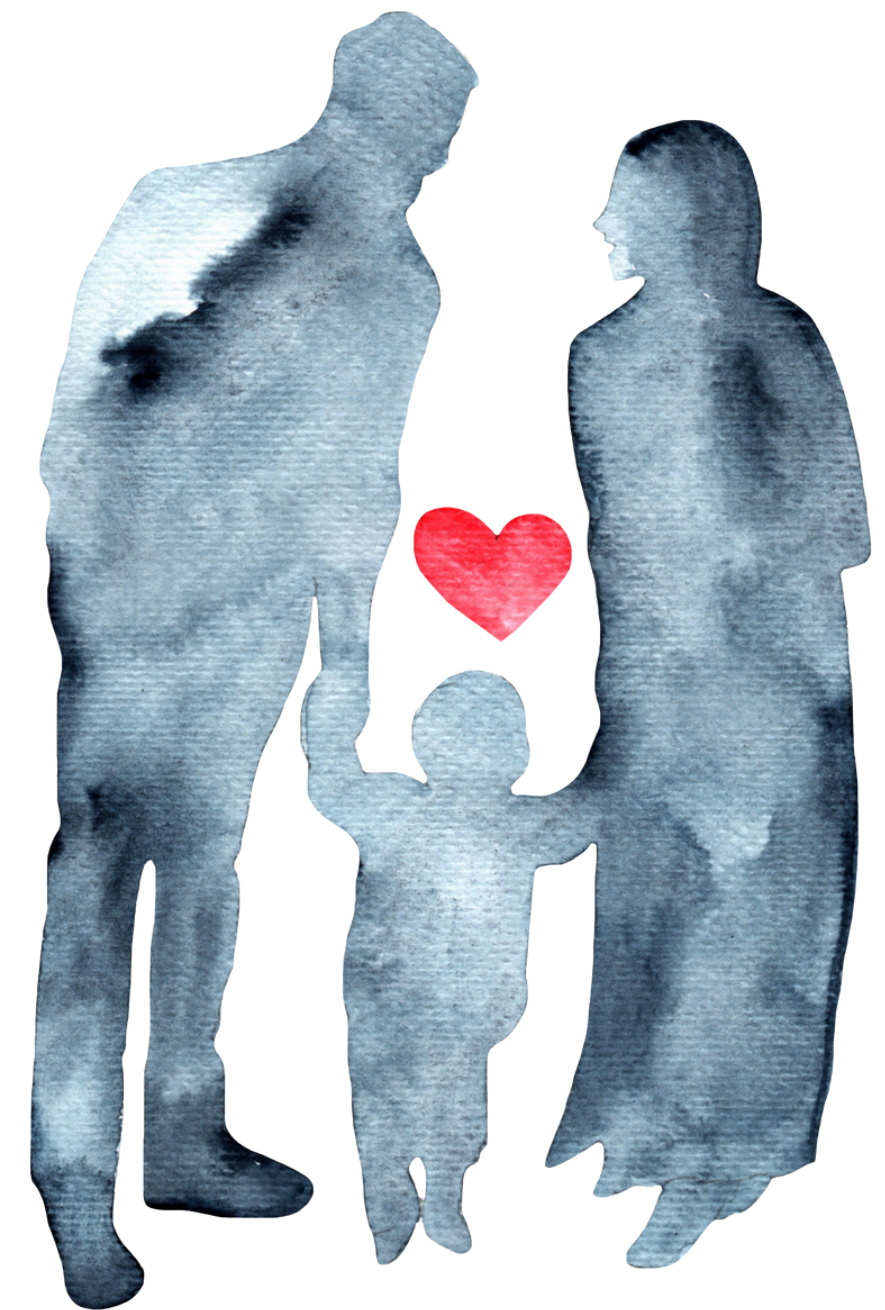


離島地域の一部がアンケートの回答には含まれておらず、支援の偏りが確認された。

Q3 同居家族の人数

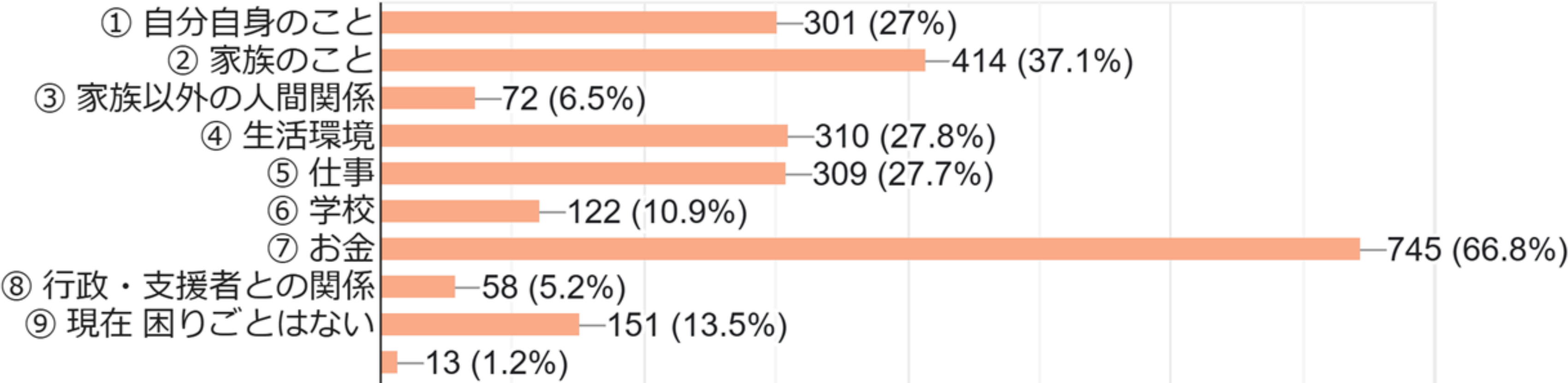
回答者の家族構成は、平均3人家族が最も多く、次いで4～5人の家庭が多い傾向が見られた。

6人以上の世帯も一定数存在し、多子世帯からの支援ニーズがあることがわかった。



Q4 現在の悩みや相談している内容（複数回答可）

特定非営利活動法人
フードバンクセカンドハーベスト沖縄



その他を回答した方の内容として
物価高騰による影響が一番多く、ほかに
新学費・学費／住まいが決まらない・退去／病気／夫からのDVなどの回答が見られた。
また、「現在困りごとはない」と回答した方が全体の13%おり、その理由としては
過去に困難を抱えていたが、支援を受けたことで悩みが解消されたとの可能性が考えられる。

Q5 困りごとの具体的な内容

1. 経済的な問題

「物価高騰」（6件）、「生活苦」（3件）、「お金がない」（3件）
「経済的に厳しい」（3件）、「収入が少ない」（3件）、「生活費」（3件）
「お金が足りない」（3件）、「娘の大学費用」（2件）、「生活困窮」（2件）

物価の上昇や収入の不安定さが、日常生活に大きな影響を及ぼしている。

2. 家庭・家族の問題

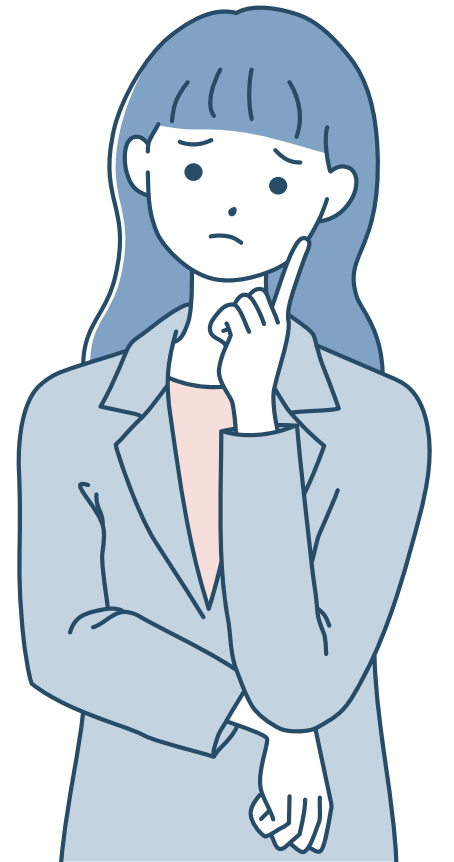
「母子家庭で」（4件）、「シングルマザー」（3件）
「親の介護」（4件）、「子育て」（2件）、「子どもの不登校」（2件）

ひとり親家庭や介護負担がある家庭が、特に厳しい状況にあることがうかがえる。

3. 仕事と生活の両立

「収入が不安定」（2件）、「仕事と育児の両立」（2件）

仕事と家庭のバランスが取れず、経済的な困難に直結しているケースが多い。



Q5 困りごとの具体的な内容（自由記述の一部）

子供が
病気をする事が多く
仕事もあまり行けず
その分収入は減り
手当が入る月でも生活
がギリギリです(>_<)

食費や物価高騰で、
どうしても食費を削っ
てしまいます。
習い事も
制限せざるをえない

育休で収入が減ってし
まい、子供の教育費や
食費が大変です

別居してるが婚姻費用
貰えず、親権で揉めて
いて離婚も出来ていな
い

鬱病になり
社会復帰ができない
お金がなく
生活がうまく回らない

債務がある、家族が
アルコール依存症

悩みのまとめと考察

最も大きな問題は「お金」の悩みであり、特に仕事・生活環境・家族の問題と密接に関連している。

子どもがいる世帯では教育費や食費の負担が特に大きい。不登校児をもつ親は共働きが難しく経済的影響が伴う。

収入の不安定さが生活全般に悪影響を与えていることが明らかである。

公的支援に対しての知識不足やアクセスが不足している可能性。

Q6 お米の提供を受けての感想の一部



「物価高騰になり、お米も高くなったので本当に助かりました。涙が出そうでした。」

「家計負担があるので、とても助かっています。これからもぜひ続けてほしいです。」

「子供達にもご飯を食べさす事が出来て本当感謝です。」

「食費が高くなり、収入は変わらず生活費を圧迫して困っていました。本当に助かりました。」

「お米は毎食必ず食べる物なので、お腹いっぱいご飯が食べれる事に感謝しています。」

「お米も高騰化して、買うことができずにいました。お米をいただけたので安心しております。

何もなくてもお米さえあればなんとか食べていけるので。」

「子ども達のお弁当で5キロのお米は1週間持たないし、物価高騰でお米も高くなっているのです。お米の提供はとても助かります。子ども達にたくさん食べさせてあげられます。」

「子ども達食べ盛りなので、私も仕事におにぎりを持って行くので、ありがたいです。」

「お米も値上がりしており、提供してもらえてすごく感謝してます。ありがとうございました。」

お米の提供が家計の負担軽減や子どもの成長支援に直結していることが改めて確認できました。

アンケートまとめ

本アンケートの結果から、お米の提供は多くの家庭にとって重要な支援となっていることが確認されました。特に、子どもを持つ家庭や収入の不安を抱える家庭にとって大きな助けとなっていることが分かりました。

他にもお米の提供が単なる物資提供を超え、以下の点で大きな効果を持つ。



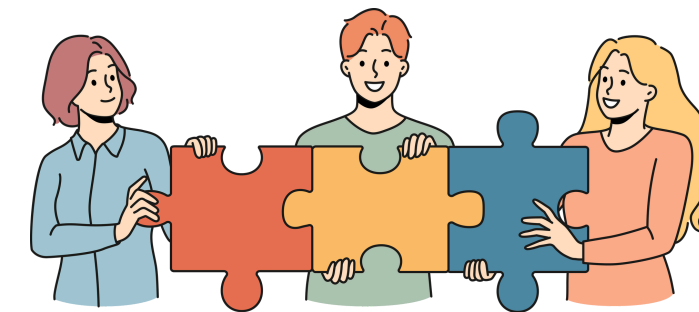
1. 経済的負担軽減

食費の負担が軽減されることで、その分の家計を子どもの教育費や医療費に回すことができる。



2. 生活の安定と安心感の提供

不安定な家庭やひとり親家庭にとって、食の確保が保証されることで、生活全体の安定につながる。



3. 社会との連帯と孤立を防ぐ

困窮している人々が社会とのつながりを実感することで、孤独や孤立の解消につながる。

本資料の無断転載・複写を禁じます

今後の課題



お米など支援で求められる食品の確保
より多くの家庭が継続的に支援を受けられる体制づくり
仕事や生活に関する支援情報の発信
受け手が必要な情報にアクセスしやすい環境づくり

さらに、協力企業や支援団体との連携を強化し、
地域全体で支え合う仕組みの構築が重要

今後ともご協力をよろしくお願いいたします！